

平成 28 年度 第 2 回大学院経営セミナー 講演要旨

講師：東洋学園大学大学院現代経営研究科 教授 横山和子

演題：「**女性が海外で働くということ**」

日時：平成 28 年 10 月 23 日（日曜日）

会場：東洋学園大学 本郷キャンパス 1404 教室

講演は講師の国際公務員としての経験に基づく日本人国際公務員のキャリア研究、現在進行中の海外でキャリアを積む日本人の研究の 2 点に焦点を当て行われた。要旨は次の通りである。

日本人国際公務員のキャリア研究

講師の横山氏は、ILO（国際労働機関）ジュネーブ本部、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）ジュネーブ本部、FAO（国連農業食糧機関）ローマ本部での勤務を経て、現在の東洋学園大学に勤務している。2006 年から 2013 年にかけて行った日本人国際公務員に関する調査研究から、国際機関に転職した日本人男性は労働時間の減少を評価し、日本人女性は民主的な（男女差別の少ない）職場を評価していることを明らかにした。

海外起業家の研究

日本では会社（組織）派遣の海外勤務者の研究は行われているが、自分の意思に基づき海外で働く日本人のキャリア研究はほとんど行われていない。また、現代の若者は勤務する企業からの束縛を受けることなく、自分の職業人生を送りたいと考えている（横山：2011）。自分の意思で海外で働く人材は Self-initiated Expatriates (SIE) と呼ばれ、新しい研究分野としてヨーロッパを中心に研究が進められている。

講演では、専門学校、短大を卒業した後に海外でキャリア・アップの道を求め国際公務員として活躍している女性、短大を卒業後 OL を経てバンコクで起業している女性の事例を紹介した。続いて、2013 年から 2015 年にかけて深圳（中国）、香港、バンコクで行った海外で起業している日本人への聴き取り調査の紹介があり、海外で起業する男性、女性の間には下記の八項目の共通点、相違点があることを紹介した。

- ・男女とも人生の探索期に海外との出会いがあった
- ・起業開始年齢は、男性の場合は若く、女性の場合は遅い
- ・男女共に柔軟性がある
- ・男女共にモチベーションが高い
- ・男性は開業資金を外部から調達し、女性の場合は自己資金で起業している
- ・男女共に家族からの支援がある
- ・男女共にキャリア・アンカー（座右の銘）を持っている
- ・男女共に多数がメンターを持っている

氏は上記の要素を多く持っている人ほど海外での起業・勤務が成功する確率が高いこと、女性と海外は親和性が高いことを指摘した。最後に、現在は日本人のキャリア形成が男女間で異なるが、将来的には女性のキャリア形成は男性のキャリア形成に近づくであろうと結論づけた。なお、現実には逃避的に海外で勤務している者も存在するが、講演では成功事例のみを取り上げたこと、今後の計画として、東南アジア各国の経済的、文化的、宗教的要因を考察すると共に、聴き取り調査を他の東南アジア諸国へ拡大する予定であることを付け加えた。

横山和子（2011）．『国際公務員のキャリアデザイン』．白桃書房）．